

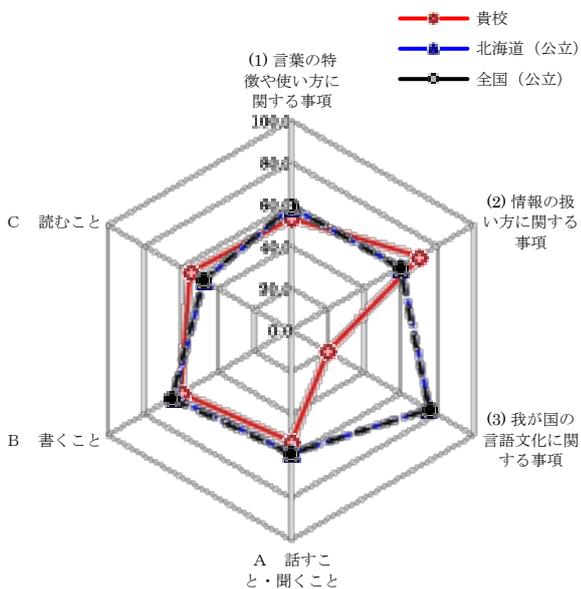
【浜益中】令和6年度全国学力・学習状況調査 分析結果

- 本調査は令和6年4月18日に、中学3年生を対象に実施されました。
- 本校の結果について、分析とともにお知らせいたします。
- 本調査は学力の特定の一部を調査するもので、学校における教育活動の一側面であります。よって、これらの傾向・分析が本校生徒全員に当てはまるとは限りません。
- お子さんの学力や生活について質問がありましたら、学校までご連絡ください。

国語

全国と比べてやや低い

1. 全体的な考察と現在の取組・今後の方策



<考察>

- 思考力・判断力・表現力における「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域では全国の平均正答率と同様の結果でした。特に「読むこと」では相当高い結果でした。
- 知識及び技能における「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で「我が国の言語文化に関する事項」は、全国の平均正答率より相当低い結果でした。

<取組・方策>

- 書くことに関しては、タブレットを使って書く学習を続けてきたので、文章を書くことに抵抗がなくなってきたと考え
- 課題としては、行書の書き方について復習をする必要があること
- 「話すこと・聞くこと」では、文章を読み取り、図に必要な事項を書きこむという問題の正答率が低かった。生徒にとって見慣れない問題であったと考える。

2. 課題の見られた問い 我が国の言語文化に関する事項



正解 1

- ①の部分、横画とは異なる点画を連続して書いている。
- ②の部分、横画とは異なる点画を連続的に書いている。
- ③の部分、横画と同様に連続を止めて書いている。
- ④の部分は、横画と同様に連続を止めて書いている。

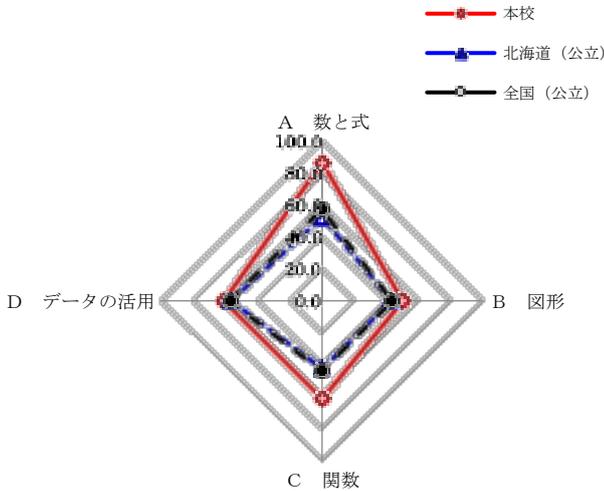
④までの部分の書き方について説明したものと最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

テーマである「月と風景」を行書で書きました。次の①から

4
三

4と解答している誤答が多く見られた。「点画を連続して書いている」という文章から、⑦の部分の書き方をイメージできなかったと考える。授業の中で説明する際に、生徒たちが聞きなれた言葉で表現してしまうことが多く、「こことここがつながっている」や「つづけて書いている」という言葉を使って指導しているので、教科書に使われている言葉（今回の場合は「点画の連続」）も意識的に使用するようにしたい。筆で書くだけでなく、硬筆で行書のポイントをまとめるなどの振り返りの学習を取り入れていきたい。

1. 全体的な考察と現在の取組・今後の方策



<考察>

- 「数と式」「図形」の領域は全国の平均正答率より相当低い、「関数」は相当高い、「データの活用」は同様の結果でした。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点については「知識・技能」がやや高い、「思考・判断・表現」は相当低い結果でした。

<取組・方策>

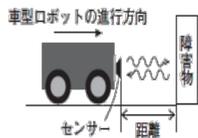
- 関数領域では、自分で考えそれを他者に伝えることを3年間積み重ねてきた。それにより、関数全体の学習の基礎ができあがったと考える。
- 自分の考えを適切な言葉で表現することが課題であり、「考えはあるが言葉にできない」という状況の解消が必要である。

2. 課題の見られた問い データの活用

7(2)

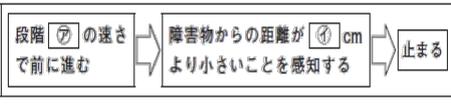
車型ロボットの説明

- 障害物からの距離を測定できるセンサーがついている。

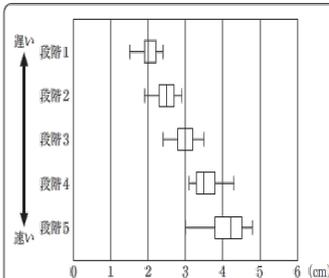


- プログラムの ⑦、⑧ に値を入れることによって、車型ロボットの速さと、障害物からの距離を設定し、車型ロボットの動きを止めることができる。
- ⑦ は、速さとして最も遅い段階1から最も速い段階5まで設定できる。
- ⑧ は、距離として3cmから500cmまで設定できる。

プログラム



10cmの位置から進んだ距離の分布



	10cmの位置から進んだ距離(cm)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
段階1	1.5	1.9	2.0	2.2	2.4
段階2	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9
段階3	2.4	2.8	3.0	3.2	3.5
段階4	3.1	3.3	3.5	3.8	4.3
段階5	3.0	3.8	4.2	4.5	4.8

(問い) 咲希さんは、車型ロボットの速さを変えたときに、10cmの位置から進んだ距離がどうなるか調べることにしました。そこで、速さを段階1から段階5まで変えて、10cmの位置から進んだ距離をそれぞれ20回ずつ調べ、データを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために箱ひげ図に表しました。

前ページの10cmの位置から進んだ距離の分布から、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、10cmの位置から進んだ距離の分布の5つの箱ひげ図を比較して説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

したがって、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある。

「速さが段階1から段階5まで速くなるにつれて、箱ひげ図の箱の位置が右側にずれていっている。」というのが正答例である。箱の位置が右にあればあるほど進んだ距離が長くなることはわかるが、そのことをどのように説明すればよいか分らなかったと考える。授業の中で、生徒があいまいな発言をした際に教師や他の生徒が補ってしまふことがあるので、自身のことばで説明しきることができるよう、問い返したり、言葉を待ったりする場面を意図的に作るよう意識していきたい。

生徒質問紙

※生徒質問紙は全校生徒対象に実施しております。

	成果が見られた質問項目(一部)	「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計		あてはまる				あてはまらない			
		「あてはまる」	「どちらかといえばあてはまる」	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない				
1	朝食を毎日食べていますか	100.0	0.0								
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	92.3	7.7								
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.3	7.7								
4	自分には良いところがあると思いますか	76.9	23.1								
5	先生はあなたの良いところを認めてくれていてとおもいますか	100.0	0.0								
6	人が困っているときは、進んで助けますか	100.0	0.0								
7	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか	100.0	0.0								
8	地域や社会をよくするために何かをしたいと思いますか	84.6	15.4								

- 「朝食」「起床・就寝」などは例年と変わらず相当高い数字となっております。浜益地区の家庭の教育力が現れています。
- 「いじめはどんな理由があってもいけないこと」は全員「あてはまる」です。いじめに対する正しい考えが見られます。
- 「地域や社会をよくする」はCSを通じた様々な教育活動の支援が生徒の地域愛の育成につながっています。
- 教職員が毎日、生徒一人一人に関われる環境（小規模校）を活かし指導していることが相談しやすい関係につながりました。

課題が見られた質問項目		3時間以上						2時間以上3時間未満		1時間以上2時間未満		30分以上1時間未満		30分未満		使っていない		全くしない	
1	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか																		
2	普段、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか																		
3	普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか																		
4	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか																		

- ゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）の時間が多い傾向がみられます。
- SNSや動画視聴などの時間が多い傾向が見られます。
- 家庭学習の時間が十分に取れていない傾向が見られ、持ち帰っているICT端末の活用も十分ではない傾向が見られます。

＜調査結果を踏まえた今後の学校での主な取組＞

①少人数の特性を生かし、「資質・能力」の確実な育成と「学習習慣」の定着

- ・対話的な学びや端末の有効活用を図る授業改善を進めます。
- ・定期テスト、学力テストなどを生徒自身が分析し、目標につなげる取組を進めます。
- ・ICT（一人一台端末）の授業での活用の工夫・改善を進めます。
- ・AIドリル（キュビナ）を用いた家庭学習の取組を進めます。
- ・中1-70分、中2-80分、中3-90分の家庭学習を学校・生徒・家庭で協働して達成を目指します。
- ・「困っている」生徒への個別支援を実施します。（休み時間、放課後、長期休業期間など）

②「スクリーンタイム」「SNS利用」について生徒の自己管理能力を高める取組

- ・教育相談、三者懇談などの機会に生徒・家庭・学校で「放課後の過ごし方」の教育相談を進めます。
- ・ネットトラブル防止の指導を学活・道徳の時間に進めます。